

いきいき弥小っ子

あいさつを交わし合う

校長 黒部道雄

私の家の近所にあいさつをしても返してくれない方がいました。あいさつが返ってこないということは、気持ちの悪いものだと思います。でも、小さいころからの躰で、「近所の人にはあいさつする」という習慣がしみついていましたので、あいさつを続けてきました。

ところが、先日、あいさつが返ってきたのです。うれしい驚きとともに、時候などについての会話が始まってきたのです。あいさつを粘り強く続けてきたせいなのでしょうか？

弥彦小学校の子どもたちは、来校者の方へのあいさつや校外でのあいさつが消極的だという指摘をいただくことがあります。

先日、地域の方との会合の中で、「子どもたちは、とても元気でよいあいさつをしてくれますね。」という話をいただきました。そして、そのこととは反対に「毎朝、おはようと声をかけますが、あいさつを返してくれない子もいますね。」というお話もいただきました。

弥彦小学校の子どもたちは、あいさつを一生懸命に行う子がほとんどです。しかし、あいさつがなかなかできない子たちもいるのだと思います。

なぜ、あいさつに消極的になってしまうのでしょうか。いろいろな要因があるのだと思います。

私は、その要因のひとつに、あいさつをしても返ってこない時の気持ちの悪さが、自分からはしないという気持ちにさせていることはないのだろうかと思う時があります……。でも、そのようなことを感じさせないあいさつが行われている教室がありました。子どもたちが「おはよう」という言葉で教室に入ると、ほとんどの子が「おはよう」と迎えているのです。

そこには、子どもたちの笑顔がありました。あいさつをする気持ちよさとあいさつを返してもらった気持ちよさが、さらにあいさつへの意欲を高めていっているように思いました。

学校では、これからもあいさつを奨励していきます。あいさつを交わさないとなんとなく気持ちが悪いと思えるまでに習慣化したいものだと思っています。

ご家庭や地域の皆様方からも、いっそう、子どもたちとのあいさつを交わし合っていたいただければ幸いです。

各学年の5～6月の活動の1コマを紹介します

学校では、様々な教育活動を通して、自己肯定感やコミュニケーション能力の育成、よりよい人間関係の構築に取り組んでいます。活動を通して、子どもたちがしっかり成長できるように、サポートしていきます。



公園で遊ぼう(1年)



野菜の苗植え(2年)



リコーダー教室(3年)



親子燈籠花づくり(4年)



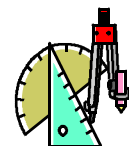
桜井の里訪問(5年)



プール清掃(6年)

各プロジェクトの取組②(学びプロジェクト)

6日(月)から12日(日)の**家庭学習週間**。全校で家庭学習習慣の一層の定着に向け、「学年×10分」を毎日のめあてとして設定し、子どもたちはがんばって取り組みました。**目標を達成した児童の割合は全校で80%**でした。保護者の皆様からは、励ましや声かけを多く子どもたちにいただきました。また、家庭学習に取り組む姿に肯定的な意見もお寄せいただきました。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。学校ではこれからも、子どもたちへのサポートを続け、家庭学習の習慣づくりに引き続き取り組んでいきます。ご家庭からの支援も引き続きよろしくお願いいたします。



各プロジェクトの取組③(思いやりプロジェクト)



思いやりプロジェクトの大きな取組に「ふれあい活動の充実」があります。今月からフレッシュペア(異学年ペア)の活動が始まり、交流の輪が広がっています。特にリーダー役の4・5・6年生がはりきって活動に取り組んでいる様子がうかがえます。また、今月末にはわかばフレンズ活動(全校縦割班)が予定され、6年生を中心に具体的な活動を計画中です。違う学年の子どもと共に活動し、交流することによって、いろいろな人とのかわり方を学び、ふれあいを深めています。